

## 今日の説教のポイント <ルカによる福音書1章26～38節>

### ①神様のご計画が先行していた出来事！

マリアさんに天使ガブリエルが受胎告知する有名な箇所です。ここでまず大事なことは、この出来事が神様によって計画され、実行された出来事だということです。「六か月目に、天使ガブリエルは～神から遣わされた」(26)。初めてここを読む人は、「何だ、これは。信じられない」と思うでしょう。マリアさんも同じでした。「マリアはこの言葉に戸惑い、いったいこの挨拶は何のことかと考え込んだ」(29)。しかし、もし神様が本当におられて、計画され、実行された出来事なら、私たち人間が「分からない」と思う場合があっても不思議ではないでしょう。では、その場合、私たちはどうしたらいいのでしょうか？ その出来事を追ってみることではないでしょうか？ マリアさんも天使の言うことを聞き続けたのです。

### ②その出来事は何を告げようとしているの？

マリアは天使から、「聖霊があなたに降り、いと高き方の力があなたを包む。～神にできないことは何一つない」(35-37)と言われました。これはイエス様がマリアさんのお腹の中に与えられることを言っているのでしょうか。でも、どこかで聞いたことのある表現です。そうです、「神様が与えて下さったイエス様を信じる者には、聖霊が降り、神の力に包まれる」(使徒1:8)、これは新約聖書が告げる中心メッセージです！ つまり、マリアさんだけでなく、私たち全ての者にも告げられていることです！ だからこそ、その最後に告げられる言葉が大事なのです、「神にできないことは何一つない」(37)。

### ③信仰とは、この神様を信頼して委ねて生きること

マリアさんはこう言われて、「わたしは主のはしためです。お言葉どおり、この身になりますように」(38)と答えました。初め、「意味分からない」と戸惑い、考え込んでいたマリアさんが、天使が告げる「福音(ふくいん、良き知らせ、good news)」を受け入れたのです。これこそ奇跡です！ 神様のなさることを聖書に聞いていると、その意味が分かるようになって来る奇跡です。これも私たちも同じです。「神にできないことは何一つない」、その一つだと思います！